

令和 6（2024）年度活動報告書

<はじめに>

今年度は、私たち姫路自立生活支援センター（CIL ひめじ）が法人格を取得し、事業を始めてから 20 年という節目の年を迎えました。全国的な物価の上昇など社会を取り巻く環境が目まぐるしく変化していく中、当センターにおいても、財政再建に向けて、新たに組織を見直し、将来にわたって持続可能な法人となる為に会員、利用者、職員とともに事業に取り組んでまいりました。その結果、年度目標を上回る収支改善が図れ、新たに一人暮らしを始めるメンバーや新たな取り組みに挑戦する方もあり、少しずつではありますが事業基盤が整いつつあります。これもひとえに、会員をはじめ関係者皆さまのご支援ご協力の賜物であると感謝しております。ありがとうございました。

今後も、皆様の願いや思いの種が実るよう、姫路自立生活支援センターが成すべきものは何かを考え、皆様の暮らしの充実に向けて事業に取り組んでいきたいと思っています。どうか、今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

<理 念>

「あなたらしく じぶんらしく」～自進・道信・決心～

私たちは、自ら進む道を信じて歩いていくことを心に決め、どんな障害があっても自分らしく生きていける社会を目指しています。

<法人の存在意義>

障害があっても社会の中で自分らしい生活を実現するために必要な事業を障害当事者が中心となつて行い、障害に関わりなく生活できる社会環境の創造を行う。

<行動指針>

「誰でも 自分らしく 社会の中で 生きる権利を 一緒に考えます」

1. 障害の種類や程度に関わらず支援する（誰でも）
2. 自分で考え、決め、行動することを大切にする（自分らしく）
3. 色んな人とのかかわりを大切にする（社会の中で）
4. 当たり前生きる（暮らす）権利をまもる（生きる権利を）
5. いつも一緒に考えていくことを大切にする（一緒に考える）

<支援方針（職員行動規範）>

- ① それぞれの人に合わせた色々な支援を総合的に行います
- ② それぞれの人の意見を最大限に尊重する支援を行います
- ③ それぞれの人がもっている力が発揮できる環境をつくります
- ④ 色々な人とのかかわりを大切に支援します
- ⑤ 誰もが暮らしやすい地域や社会づくりを支援します

§ 部署別重要項目と結果

I. 法人運営

経 営 管 理 部

活 動 の 概 要	
毎月の経営推進会議において確認する事で、参加メンバー間での共有ができ、前向きな議論ができたことは良かったと思います。また就業規則・給与規定を新しく作ることができました。一方で規定の周知と活かし方については十分ではなく、今後の課題となってきます。どの事業も推進していけるように体制作り、環境作りは引き続いての課題です。	
重 要 項 目	結 果
○ 財政再建 ・各事業の目標の管理（毎月）	目標月額の意識が浸透した。各事業毎だと未達成な時もあるが、全事業合わせて、月平均 1,130 万円であり、達成率 100%となった。
○ 人材確保と育成 ・法人の様々な規程の整備 ・法人の人事システムの構築	社会情勢に即した給与規程の立案ができた。 2024 年 10 月より、新給与体系での給与支給を開始した。 給与規定の見直しに合わせて、就業規則の修正を行い、スタッフ会議で読み合わせを行った。

事 務 局

<会員数年度比較>

	令和 5 年度	令和 6 年度	増 減 数
正会員数	26 名	22 名	4 名減
利用会員数	20 名	8 名	12 名減
賛助会員数	10 名	6 名	4 名減

<会議運営事業>以下に記載していますのでご覧ください。

- ・総 会 2024 年 6 月 16 日（定期総会）
- ・理 事 会 2024 年 6 月（2 回）、11 月
- ・経営推進会議 毎月 1 回
- ・運 営 会 議 2024 年 6 月、9 月、12 月、2025 年 3 月
- ・スタッフ会議 2024 年 7 月、10 月、2025 年 1 月

総 会	議 事 内 容
2024 年 6 月 16 日	・令和 5 年度活動報告（案）に関する事項 ・令和 5 年度決算報告（案）に関する事項 - 監事監査報告 ・定款変更に関する事項 ・役員改正に関する事項 ・令和 6 年度活動計画（案）に関する事項 ・令和 6 年度予算計画（案）に関する事項 ・役員報酬規程改正に関する事項

事務局

スタッフ会議	内 容
2024 年 7 月 18 日	・福祉サービスにおける感染症の研修
10 月 17 日	・虐待につながる事例検討会の報告 ・自立生活運動の歴史と役割について（映像研修）
2025 年 1 月 16 日	・災害及び感染症対策検討委員会の報告書 ・就業規則の読み合わせ

活 動 の 概 要	
4～9 月までは、目標月額収入（1,130 万円）に達していませんでしたが、10 月からすべての月において、目標額を超え 1 年間の月平均が、1,130 万円となり達成率 100%となりました。 新給与規程の通知及び運用するができ、センターで従事いただいている職員皆様の給与水準の改善をする事ができました。	
重 要 項 目	結 果
○人材確保	今年度は、常勤職員 3 名の退職がありましたが、常勤職員 3 名、非常勤職員 4 名の採用があった。
○給与規定及び就業規則見直し	給与規定の改正により、一般水準並みの給与に改正できた。また、給与改正に合わせて、就業規則見直しと周知を実施した。
○社内ネットワーク強化・整備	社内ネットワークの検討までに至らなかった。

Ⅱ．福祉に関する権利擁護及び情報の提供事業

当事者運動

活 動 の 概 要	
当事者の発掘及び、インクルーシブな社会実現に向けての取り組みに着手できていない。だが、姫路市バリアフリー調査会議に廣内副理事長が参加し姫路市バリアフリー構想へ関わっている。 また、利用者の皆様が、自分らしく地域で暮らせる家（グループホームやシェアハウス）のような場所の構想について検討もできていない。 次年度において、自分の暮らし考えるきっかけづくりになるような講演会を開催したいと検討しております。	
重 要 項 目	結 果
○当事者運動の充実	はりま福祉ネットワーク会議へ参加しているものの、当事者運動の充実を図れなかった。
○暮らしや人生を考える支援	障害のある方が自分らしく暮らす為の住み家の検討に至らなかった。

Ⅲ. 総合支援法に基づく特定相談支援事業及び

児童福祉法に基づく障害相談支援事業

ぴあ・あくせす

<実施状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用計画	3	3	1	4	3	5	3	5	9	7	3	1	47
モニタリング	20	17	19	18	16	16	14	11	19	17	17	25	209
合 計	23	20	20	22	19	21	17	16	28	24	20	26	256

活 動 の 概 要

R5 年 7 月から当事者相談支援専門員が配置され、現在、ぴあ・あくせすは 2 名体制で運営しています。ピア・カウンセラー養成講座、医療的ケア児等養成研修など、専門分野の研修を受講し、知識や技術習得を続けたことで各々が専門性や得意分野を持ち、力を発揮できた一年であったと実感しています。加えて、姫路市が主催する事例検討会の運営メンバーとして参画し、相談支援事業所との連携やネットワークの強化をはかることもできました。

引き続き、ぴあ・あくせすは当法人の理念および強みを活かした相談支援事業を提供することで、障害のある方々が自分らしく暮らしていけるようサポートしていきたいと思いをします。

重要項目	結 果
○収益の確保 ・月平均目標収入額 30 万円以上を目指す	・達成（133%）
○人材確保と育成 ・資格取得の推進（1 つ以上） ・業務の標準化を図る ・次世代相談支援専門員等の採用（1 名）	・資格取得の推進⇒達成（100%） ・業務の標準化⇒マニュアル作成は作成途中のため未達成 ・相談支援専門員候補者採用⇒達成（100%）
○資質の向上 ・各種団体が開催する研修に参加（2 回以上） ・熟度に即した所内研修の実施（1 回以上）	・研修参加⇒達成（100%） ・所内研修⇒達成（100%）

IV. 障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス業

りぷるす 生活介護、就労継続支援 B 型

＜事業実施状況＞ 生活介護 りぷるす：1 日平均 4.7 人 つばさ工房：1 日平均 7.5 人
 就労継続支援 B 型 りぷるす：1 日平均 5.5 人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
営業日数	23	23	22	24	20	20	24	22	21	21	20	22	262
りぷるす	110	104	93	100	93	105	124	117	111	94	93	99	1243
つばさ工房	174	185	171	181	155	155	164	159	157	151	150	152	1954
就労 B 型	105	115	111	141	106	99	116	101	101	108	98	99	1300
合 計	389	404	375	422	354	359	404	377	369	353	341	350	4497

活 動 の 概 要

ご自身、ご家族が体調を崩されるなどで通所が不安定となる利用者が複数おられました。一方で体調の変化があり、ご自身の身体状況の変化があっても変わらず通っていただけるように支援を行うことができた。ICT を活用したスマート農業を 8 月～12 月の間行い、ワクワクする活動として提供できた。

重要項目	結 果
○財政再建 ・月平均目標収入額：500 万円 ・業務の整理、効率化	・未達、就労継続支援 B 型の利用者が生活介護に移動したことによる就労継続支援 B 型の利用者減、生活介護利用者微増 ・未達、在宅ワークの勤務体制はできていない
○人材確保と育成 ・組織の改変 ・トータル的な支援ができる人材育成	・達成、就労継続支援 B 型から生活介護に籍をうつした利用者も就労継続支援 B 型の時と同じ活動を提供できている ・達成、一方で職員の負担増
○利用者発信にもとづく活動の充実 ・各種団体が意思決定支援の充実 ・ワクワクする活動の開拓 ・暮らしや人生を考える支援 ・互いの権利を守る支援	・達成、土曜日、平日問わず企画を立てる利用者が増加 ・達成、ポッチャリーグへの継続的な参加や調理、買い物など普段のりぷるすではできない活動を提供できた ・一部達成、在宅ワークやオンラインでの業務の提供を行った。一方でグループホーム、シェアハウスについては話を進められていない ・一部達成、月 1 度ではないが、自立についてや商品会議など、個々の活動だけではなく、通所された利用者全体で話し合う機会を設けられた

V. 障害福祉及び介護保険サービス事業に基づく居宅介護（訪問介護）事業所

えんじょい

<事業の実施状況>

サービス名	派遣時間	月平均 派遣時間	サービス名	派遣時間	月平均 派遣時間
重度訪問介護	14,403 時間	1,200 時間	同行援護	378 時間	32 時間
身体介護	665 時間	55 時間	移動支援	972 時間	81 時間
家事援助	424 時間	35 時間	介護保険	1,007 時間	84 時間
通院介助	247 時間	21 時間	重度障害者等就労支援	2,591 時間	216 時間

活 動 の 概 要	
令和 5 年度末に常勤職員の半数が退職し、ご利用中の利用者様には心配をおかけしましたが、職員一丸となってえんじょいを盛り上げました。 他事業所が業務縮小や撤退をする中、地域の中でえんじょいの役割とは何かを考え、利益ではなくサービスの満足度の向上を目指しました。1 年間を通して、昨年度よりも 1,000 万を軽く超えるプラス収支を達成し、えんじょいだけでなく、センター全体を明るくすることができた 1 年だったと思います。	
重要項目	結 果
○財政再建 - 月平均目標収入額：600 万円 - 業務の効率化を行う	- 職員一人一人が自分の役割を持って業務に取り組むように、しくみ作りをしました。 - 年度の後半には目標値を大きく超える売り上げとなり、月平均 630 万の達成率 105%となりました。
○人材確保と育成 - ヘルパーの人材の確保を行う - 現在勤務しているヘルパーの新たな挑戦が出来るように支援をする	- 女性ヘルパーが増えましたが、男性は増えておりません。応募もない状態です。 - 常勤職員だけでも年間で様々な種類の資格の取得をしました。また、登録ヘルパーの資格の取得にも積極的に取り組み、えんじょい全体での職員のスキルアップが達成できました。
○利用者発信にもとづく活動の充実 - ヘルパーだけでなく、幅広い視野での支援を行う - 研修会や講演会に参加し、色々な視点での気づきができるようにする	- 重度障害者等就労支援特別事業のヘルパーの配置や、地域のイベントやスポーツ観戦などの様々なことにチャレンジをしました。 - 研修には参加していますが、講演会にはほとんど参加できませんでした。